2017年2月

NPO法人 学習塾全国連合協議会 東日本ブロック

墊全協東通信

際角

NP 學全協

題字: 伶齋(白川亮 進ゼミ柏)

東日本ブロック研修会 第1回ミニ研修会 レポート

日時:2017年(平成29年)1月18日(水) AM10:00~12:00

場所:ルノアール池袋パルコ横店 第1会議室 講師:PS・コンサルティング代表 小林弘典氏

テーマ:最近の塾業界の動向

参加者:4名

文と写真: NPO 塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長 中村基和

NPO 塾全協の経営研修で度々講師をしていただいている小林弘典氏に今回は「最近の塾業界の動向」というテーマでお話していただくことになりました。

まずは、現在は変革の時代ということから。5 年後の中学生は 5.2%減るが、地方の 2 番手以下の高校は定員割れするという少子化の進行が見え始め、中 1 の入塾が遅くなるなど中学生が動かなくなっている。ICT=デジタ



ル化の進展に加速度がついて塾業界はついて行けなくなり、英語やプログラミングなど異業種が入って来る。 通信教育と塾の区別がつかなくなってくる。ブラックバイト問題の影響もあって常勤、非常勤ともに塾の人 材のひっぱく状況が起きている。オリンピックを前に過剰な運動部活動が見られるなど多くの塾にとっては あまりありがたくない状況となっているという話から始まりました。

次に昨年1月~4月の生徒募集の状況のアンケート結果の説明がありましたが、驚いたことに70%以上の塾が前年度より伸びていました。しかしこういうアンケートに対して状態の悪い塾は回答したがらず、良い塾が回答する傾向があるのであまりあてにはならないようです。塾の入塾状況は株価と連動するようで、今年は悪くはなさそうだが、トランプ新大統領の言動次第ではどうなるか分からないとのことでした。

次は塾の形態と「映像」の利用についての話がありました。注目すべきは「映像を利用していない」と答えた塾はクラス授業がしっかりしている「普通の塾」で、回答した 31 塾のうち 19 塾は生徒数が増加し、3 塾は横ばいということです。

さて、ここでレシピにはなかった話題が出ました。秋田県の教育です。何故秋田県の教育レベルが高いか。 それは第一に授業のパターンが決まっていること、すなわち始めに今日の目安・目標を提示し、最後に今日 は何をやったかの確認をすることです。社団の学習塾講師検定でもチェックポイントになっていることです が、ベテランでも特に最後の確認はし忘れがちです。また生徒が言えに帰ってから学校で何をやったかを聞 いてくれるおじいちゃん、おばあちゃんの存在が大きく、北陸は全般にレベルが高いそうです。北陸は家内 工業がおおいからおじいちゃん、おばあちゃんが家庭にいるとの声も出ました。

話はレシピの方に戻り、広告宣伝の話しになりました。新聞をとる家庭が減ったとはいえ、42 塾へのアンケート結果から費用対効果が最も高かったのは「新聞への折り込み」で12 塾。次は HP やブログでした。新聞は年収1,000 万以上の世帯は92%購読しているが、年収300 万以下は55%。従って費用が安い塾は新聞にチラシを入れても駄目、高い塾は強いとのことです。いずれにせよ塾の集客の基本は口コミ。宣伝に金をかけるより今いる子供とお母さんに金をつっこんでいた方がずっと良いとの結論です。あと、増えないクラスの特徴は、①問題児がいる。②クラスがサロン化している場合ですが、生徒が問題を起こさない限りヤメロとはなかなか言えないのが難しいという小林氏に参加者達も口を揃えて「そうですよね」でした。

時間もあと 10 分位になり、最後にアクティブラーニングと塾の関係について質問したところ面白い答えが返ってきました。すなわち「講義だけでやっている塾はない。生徒に発言させるなど普通はアクティブラーニングをやっている。要は先生がいくつ引き出しを持っているかだ。」です。

研修会が終了してから小林氏をお招きして昼食に行きました。研修会の延長&付録という感じで楽しませていただきました。しまいには白内障の手術のことまで話題に出て、お互い年だなと思いました。今回は当初9人の参加予定でしたが病気や急用のため4人となってしまいましたが、たった4人でこれだけ有意義な時間が過ごすことが出来、贅沢をさせて貰ったという気分でした。

NPO 塾全協主催「教材教具展 2017」レポート

日時: 2017年(平成29年)1月27日(金)10:30~14:00

場所:柏商工会議所 4F

参加企業数:28社

ブース数:30

来場者数:約60名

文と写真: 中村基和

恒例の教材教具展。今年は出版社関係が 中心となりました。お馴染みの会社から初 めて知った会社と色々参加してくださり ましたが、高校の英数教材とか公立中高一



貫校向けのテスト会社と、専門色の強い出版社が私の目につきました。(写真)かつて塾の経営コンサルタントの小林弘典氏が「小さい塾はあれこれやらず、トンガリ型、専門型が良い」と言っておられましたが、やはりこの業界もそうなんでしょうか。





近い将来プログラミングが必修になるようでが、それに関する教材もありました。Basic や C++を直接教えるのではなく、プログラミングに必要な考え方を鍛える教材ということです。関連してロボット教室の教材を展示するかいしゃもありました。レゴのようなパーツと歯車やモーターを組み合わせて様々な形のロボットを作るものです。上級になるとプログラミングもさせます。残念ながら写真撮影の許可がでませんでしたので HP に掲載のものを貼らせてもらいました。(写真下)







会場ないで行われる特別セミナーは以下のとおりでした。

① 千葉県公立高校入試最前線(進学研究会)



② Bit campus touch のご紹介 (育伸社)



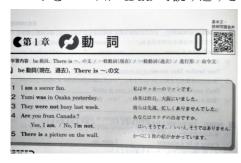
③ 4 技能対策で高校入試上位校合格(日本教材出版)



この中で私が特に注目したのは日本教材出版の新教材です。 昨年度の全国研修大会の講師の安河内氏の監修のもとに作成したもので、勿論リスニングさせ、隣の生徒同士で英文と 日本文を読みあいさせ(一種のアクティブラーニング)、最 後にはディクテーションさせるというものです。ただ、個別 指導だとやるにくい面があります。また教科書準拠でないの が私としては残念でした。あとで営業の方に「教科書準拠版

は出来ないのですか」と尋ねたところそれはよく言われるが、準拠率、著作権のなどの問題があって中々で きないそうです。

さて、下の写真をご覧ください。つい最近教育開発研究所から取り寄せた英語問題集ですが。右上の QR コードをスマホか iPad で読み込みさせると、左下の基本文のネイティブスピーカーによる読みが聞こえて



きます。(PC でも出来ます)上記の日本教材出版の教材にも他社の教材にもそのような機能がついています。とうとうこういう時代になったのですね。そして教材出版界もいよいよ 4 技能に向けて動き出したと実感しました。私は半分は意地で今だにガラケーを使っていますが、そろそろスマホにするか iPad を買うか考えようと思い始めました。

自塾でも今年、黒板機能付きプロジェクターを導入し、普段の授業で使用しようと思っています。どの ように活用できるものなのかいろいろと思案中です。気になる記事を見つけたので掲載します。(中山 和行)

日本教育新聞平成29年1月23

とを決めました。今後、教科書は具体的にどうなるのでしょうか。検討に関わ せ、電子媒体の「デジタル教科書」も教科書と同様の扱いにするのを認めるこ でできたものに限られてきましたが、文科省は次の学習指導要領の実施に合わ

学校で教科を教える際に中心的な教材として使われる教科書は、これまで紙

ったベネッセ教育総合研究所の新井健一理事長に聞きました。

ジタル教科書、今後どうなる

ります。学校

まな規定があ



から自治体や学校のサーバ

た機能は教科書ではなく

2年度までに、どのくらい

計画の終わりである202 境は、第3期教育振興基本 どもも持っているような環

が使える情報端末をどの子

んだデジタル教科書・教材

る、リッチコンテンツを含

されても、動画の撮り直し 合、申請後の審査で差し戻

ができなかったり、リンク

多くの人がイメージす

環境も同様です。

一デジタル教材」に預けて、

がまとまりません。そうし 施に間に合わせるには議論

ーに配信されるダウンロー

ッケージ型と、教科書会社 などの記録媒体に収めるパ の供給の仕組みは、DVD

ド型の両方が必要だと考え

この二つをどう連動させる

かが重要だと考えました。

や制度、技術検証などにつ う。そのためには予算措置 見通せるかどうかでしょ

の検定がベースとなるのは

いずれにしても紙の教科書 議論する必要があります。 の進展も踏まえて現実的に 検定に求める要件を、技術 もあり得ます。そのため、 先が消えていたりすること

今後も続くでしょう。

書は「図書」、つまり紙の 制限されます。そして教科 た。一方、デジタル教科書 書籍であるとされてきまし 無償給与されて、著作権が て担保され、児童・生徒に

があり、内容 は検定によっ には使用義務

には制度上の規定はありま ようになります。内容は紙 せん。紙面に掲載するか情 の教科書と同一のものにな 義務を履行したと見なせる で使っても、教科書の使用 報端末に表示するかの違い といえます。児童・生徒へ るので検定の必要はありま す。しかし、そこまで含め 動画などのリッチコンテン ル教科書といえば、音声や め、次の学習指導要領の実 ツを持ったものを想像しま 声もあります ようとすると、あまりにも 多くの制度改正が必要なた 確かに、一般的にデジタ

は、どう違うのでしょうか 書とデジタル教科書とで 教科書には法律でさまざ 制度として紙の教科 社が発行しているデジタル 教科書も教材扱いになりま せんでした。現在教科書会 ように位置付けたのですか は、デジタル教科書をどの 教科の一部(単元など) 文科省の検討会議で が、まずは低廉に設定する 同様に無償が望ましいです 同じでは、デジタル教科書 中長期的には紙の教科書と の長所が生かせないという よう教科書会社に求めまし 内容が紙の教科書と

業の必要に応じて一人一台端末の整備については、授 で学習できる環境をつくる 在り方はどうなるでしょう

ことが最低目標です。それ

ジタル教科書の存在も生き

てきません。ネットワーク

今後、デジタル教科書がリ

ッチコンテンツを含んだ場

でしなければいけません。

検定は限られた時間の中

が実現できないことにはデ

けば良いと思います。情報 ようなモデルが一つのベン チマークとして広まってい 位置付けの内容です。あの あります。まだ過渡期なの が、継続的にやっていると くるという研究もあります 間が必要です。 慣れてくるというデータも 今後、教科書検定の かした使い方 まざまに検証 について、さ するための時 で、特性を生

的な解だったのではないか することを考えれば、現実 在を制度的に認めるように

新井

健

答える人

ベネッセ教育総合研究所理事長

これまでICTを使った

的」ではなく「先導的」な を想定した授業で、「先進 徒一人一台の情報端末環境 きました。それは児童・生 教育の実証事業が行われて 型)とで、スコアが違って タ型)とPBT(ペーパー トでもCBT(コンピュー 思います。また、同じテス できる人がいるように、人 ればできない人と画面上で にもプリントアウトしなけ によって適性があるように 例えば、文字を校正する

まずはデジタル教科書の存 し思います。

ような変化があるでしょう - 学校や教員にはどの

学びの深まりの違いについ しはどう考えていますか 紙とデジタルによる

NPO 塾全協東日本ブロック | 今後の主な予定(2017年度)

3月4日(土)5日(日) 1 泊 2 日 第1回英語合宿 中高入試を考える会 5月21日(日)

NPO 塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行 編集 〒350-0322 埼玉県比企郡鳩山町今宿 229 (中山塾内)

049-296-1111 fax 049-296-1111 Email gyqbt650@ybb. ne. jp

NPO 塾全協 HP http://www.npojzk.com/

いて、さらに議論が必要で